

第 2 章 環境基本計画の施策の進捗状況

本章では、環境基本計画の概略とともに、重点施策と一般施策に関する進捗状況について報告します。

1 環境基本計画とは

1-1 概要

市では、あきる野市環境基本条例に基づき、平成 18 年 3 月に、環境基本計画を策定しました。

環境基本計画は、持続的発展が可能な社会の実現に向けて、環境の保全、回復及び創造に関する施策の方向性と具体的な展開方策などを示すとともに、市民・事業者・市の各主体がとるべき行動を示すことを目的としています。また、あきる野市総合計画の環境分野を担う計画であり、市の環境行政の根幹となるものです。

平成 23 年 3 月には、環境基本計画の後期 5 か年の重点的に取り組むべき施策を定めるとともに、一般施策について一部改訂を行い、「あきる野市環境基本計画【改訂版】」を策定しました。

1-2 望ましい環境像

環境基本計画では、あきる野市の環境の特性と課題を踏まえ、21 世紀半ばを見据えた望ましい環境像と、その実現に向けた 4 つの分野別の目標を設定しています。

【あきる野市の望ましい環境像】

歩きたくなるまち 住みたくなるまち あきる野

《自然環境分野の目標》

豊かな緑に囲まれた清流を次世代に引き継ぐ

《生活環境分野の目標》

公害のない、魅力あふれる循環型のまちとする

《エネルギー環境分野の目標》

わがまちから地球温暖化に対応する

《人の活動分野の目標》

市民・事業者・市が協働して行動していく

1-3 施策の体系

環境基本計画では、望ましい環境像の実現に向けた分野別の目標の実現に向けて、実施すべき施策を示しています。

分野別の目標	目標達成に向けた方針	施策	重点施策
《自然環境分野》 豊かな緑に囲まれた清流を次世代に引き継ぐ	1. 豊かな水と緑を守る仕組みの充実	(1) 市内全域の自然環境の実態把握と評価	①あきる野の自然を知る ②あきる野の自然を守る ③郷土の恵みの森を守り育む
		(2) 実効性の高い保全の仕組みづくり	
		(3) 市民の声が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現	
	2. 骨格をなす5つの環境軸の保全	(1) 森林の保全と活用	
		(2) 里山の保全と活用	
		(3) 秋留台地一帯の農地の保全と活用	
(4) 秋川・平井川流域の総合的な保全			
(5) 地質・地形の保存と活用			
《生活環境分野》 公害のない、魅力あふれる循環型のまちとする	1. 健康で安全な循環型のまちの実現	(1) 公害の防止	①美しい川を守り育む ②農地・農業を守る ③資源を循環させる ④美しいまちをつくる
		(2) 循環型社会の構築	
	2. 身近な自然を生かしたまちの創造	(1) 市街地における緑の確保	
		(2) 魅力ある川づくり	
	3. 美しく清潔なまちの形成	(1) 景観の整備	
		(2) 清潔なまちづくり	
《エネルギー環境分野》 わがまちから地球温暖化に対応する	1. 省エネルギーの推進	(1) 市全体での省エネルギーの推進	①省エネルギーを進める ②新エネルギーを導入する
		(2) 自動車対策	
		(3) 電力使用量の削減	
	2. 新エネルギーの導入	(1) 新エネルギー技術の活用	
		(2) リサイクル型エネルギーの利用	
		(3) 最新動向の把握及び調査研究	
	3. 森林・緑地の拡大によるCO ₂ の吸収	(1) 森林の保全	
		(2) 緑化の推進	
《人の活動分野》 市民・事業者・市が協働して行動していく	1. 市民・事業者・市の協働による取組の推進	(1) 情報の共有	①人づくりを進める
		(2) 環境教育の推進	
		(3) 環境パートナーシップの形成	
		(4) 様々な仕組みの検討	

2 施策進捗状況評価

重点施策、一般施策・事業の進捗状況、評価結果を報告します。各担当課の実績等については、資料編をご覧ください。

<凡例>

【重点施策、一般施策・事業の評価基準について】

A：定常的实施	継続して事業が実施されている。
B：一部着手	計画策定など具体的な検討を行っている。または、平成27年度までの計画期間で、毎年実施する事業ではないが、順次実施している。
C：未着手	予算確保が困難、組織・人員が不十分、関連事業の完了が前提となっているなどの理由で、事業に着手できていない。
F：完了	事業が完了（終了）した。

【重点施策の展開スケジュールの実績について】

A：定常的实施	
B：一部着手	
C：未着手	
F：完了	完了（終了）

※重点施策の展開スケジュールに対し、進捗状況の評価を左図のように示しています。

自然環境分野

2-1 豊かな水と緑を守る仕組みの充実

【目標】

- ・ 市内の自然環境が適正に評価されている。
- ・ 市内の豊かな自然の保全に、みんなで取り組んでいる。

(1) 市内全域の自然環境の実態把握と評価

- ① 自然環境調査の実施
(→重点：あきる野の自然を知る)
- ② 適正評価と保全の方向付け
(→重点：あきる野の自然を守る)

＜重点施策の展開スケジュール＞

	年 度					平成 26 年度
		H23	H24	H25	H26	H27
市域全体の自然を知る						
・自然環境調査の実施 〔環境政策課〕	予定	調査完了	フォロー調査 検討・実施			A
	実績	調査完了				
・あきる野百景などの周知・活用 〔環境政策課・観光商工課、観光まちづくり活動課〕	予定	周知・活用				A
	実績					
・生物多様性についての情報提供・普及啓発（講座、イベントの開催等） 〔環境政策課〕	予定	検討・実施				A
	実績					
自然の保全・管理活動の実践						
・あきる野版 RD 種の選定 〔環境政策課〕	予定	資料収集・分析・選定				B
	実績					
・適正評価及びモデル地区等の選定 〔環境政策課〕	予定	検討・選定				B
	実績					
・モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施 〔環境政策課〕	予定	検討・実施				A
	実績					
・生物多様性の保全のための方針の確立 〔環境政策課〕	予定	調査・検討・策定				B
	実績					
・外来生物対策 〔環境政策課〕	予定	調査・検討・実施				A
	実績					

(2)実効性の高い保全の仕組みづくり

- ① 新たな緑地保全制度の確立
- ② 新たな保全制度を支える仕組みづくり

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	緑地保全制度の実態の評価（評価の指針等の作成、実態評価）	環境政策課	B
	実効性の高い保全制度の検討・確立	環境政策課	B
②	財源の強化・拡充	環境政策課 財政課	A
	ボランティアの育成・活用	環境政策課	A
	多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	環境政策課 農林課	A

(3)市民の聲が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現

- ① 計画段階での市民参加の仕組みづくり
- ② 環境に配慮したまちづくりの方針づくり

<施策・事業>

	関連する施策・事業	担当課	平成26年度 評価
①	開発計画への市民参加の仕組み化	都市計画課	A
	景観形成モデル地区の設定	都市計画課 区画整理推進室	C
②	自然環境に適合した既存計画、線引き・用途地域等の見直し	都市計画課	A
	環境配慮型まちづくり方針・指針の策定	都市計画課	C
	地域別環境づくりの方針の活用（地区計画制度の活用）	都市計画課 区画整理推進室	A

2-2 骨格をなす5つの環境軸の保全

【目標】

- ・ 本市の自然の骨格である、森林、里山、農地、河川と、これらの基盤である地質・地形をみんなで守っている。

(1) 森林の保全と活用

- ① 森林の多面的な評価の実施
- ② 新たな保全・活用方策の検討
(→重点：郷土の恵みの森を守り育む ー特性を活かした森づくりー)
- ③ 森林の保全・活用に向けた体制づくり
(→重点：郷土の恵みの森を守り育む ー構想実現に向けての仕組みづくりー)

＜重点施策の展開スケジュール＞

	年 度					平成 26 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
次世代につなぐ森づくり							
・地域の魅力を高める森づくり（モデルプラン）の推進 〔環境政策課〕	予定	実施					A
	実績						
・古道・散策コース及び景観の整備 〔環境政策課〕	予定	実施					A
	実績						
・森の魅力発信 〔環境政策課〕	予定	情報発信					A
	実績						
森づくりの体制の整備							
・町内会・自治会等との連携 〔環境政策課〕	予定	連携					A
	実績						
・森林レンジャー・森林サポートレンジャー組織の整備 〔環境政策課〕	予定	整備・活用					A
	実績						
・郷土の恵みの森づくり事業基金の運用 〔環境政策課〕	予定	運用					A
	実績						

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	森林の環境面からの機能評価	農林課 環境政策課	A
	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大 (モデル地区による「美林の里」づくり)	農林課 環境政策課	A
②	森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進	農林課	A
	森林資源の需要の喚起(新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用)	農林課	A
③	市民参加の森づくり事業の推進 (ボランティアの育成・活用の仕組みづくり)	農林課 環境政策課	A
	活動資金の確保(緑地保全基金の活用の検討(再掲))	農林課 環境政策課 財政課	A
	森林保全・活用のための整備の推進	農林課 環境政策課	A

(2)里山の保全と活用

- ① 里山の多面的な評価の実施
- ② 里山環境の保全・活用方策の検討
- ③ 里山の保全・活用に向けた体制づくり

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	里山の現状調査の実施	環境政策課	A
	評価と利活用方針の検討	環境政策課	A
②	モデル地区での保安全管理活動の実践	環境政策課	A
	各地域での保全策の検討	環境政策課 農林課	A
	緑地保全基金の活用(再掲)	環境政策課 財政課	A
③	ボランティアの育成・活用(再掲)	環境政策課 生涯学習スポー ツ課	A
	学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	環境政策課 指導室	A

(3)秋留台地一帯の農地の保全と活用

- ① 農地の多面的な評価の実施
- ② 新たな保全・活用方策の検討
- ③ 多様な担い手の育成

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	農業振興計画との整合	農林課	A
	農地の環境面からの機能のPR	環境政策課	A
②	中山間地域ふれあい農業の検討	農林課	C
	あきる野産の農産物の利用拡大の検討	農林課	A
	遊休農地の活用方策の検討・推進（学校農園、市民農園など）	農林課 指導室	A
③	人材育成と活用の仕組みづくり （農業委員会との連携・後継者の育成支援）	農林課	A

(4)秋川・平井川流域の総合的な保全

- ① 流域の自然環境の保全
- ② 河川環境の保全・創出
- ③ 水量・水質の改善

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	環境政策課 生活環境課	A
②	秋川・平井川流域における環境保全の推進	環境政策課 生活環境課 生涯学習スポーツ課	A
③	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	農林課	A
	湧水の保全（湧水調査、湧水のPR、雨水浸透の促進）	環境政策課 生活環境課 都市計画課	A
	親しめる環境づくり（親水散策路の整備）	建設課	C
	崖線地区の保全（市街化調整区域への指定変更、公有地化）	環境政策課 都市計画課	A
	市民意識の啓発	生活環境課	A
	モデル地区での水質浄化活動	環境政策課 生活環境課	C

(5)地質・地形の保存と活用

- ① 地質・地形の適正評価と保存
- ② 保存・活用のための仕組みづくり

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	適正な評価の実施	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
②	財源の確保	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
	文化財の指定、開発の抑制	生涯学習スポーツ課 都市計画課	A
③	郷土学習の支援（多様な連携づくり）	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
	都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
	文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	生涯学習スポーツ課	A

生活環境分野

2-3 健康で安全な循環型のまちの実現

【目標】

- ・ 誰もが健康で安全な暮らしができています。
- ・ 限りある資源が無駄なく利用され、循環型のまちづくりが進められている。

(1) 公害の防止

- ① 公害に関する現状把握
- ② 大気汚染防止対策の充実
- ③ 水質汚濁防止対策の充実
(→重点：美しい川を守り育む ー水がきれいな川づくりー)
- ④ 騒音防止対策の充実
- ⑤ 有害化学物質対策の充実
- ⑥ その他の公害防止・生活環境対策の充実

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
事業所排水対策							
・ 排水水質調査・是正指導 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
生活排水対策							
・ 下水道への接続啓発・普及 〔管理課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 下水道の整備 〔管理課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 合併処理浄化槽の設置補助（補助金） 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	環境に関する情報の収集・公開（広報等）	生活環境課	A
	環境関連講座の開催	生活環境課	B
	環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	生活環境課	A
②	自動車による大気汚染の低減（自動車利用の抑制、エコドライブの推奨）	環境政策課 総務課	A
	公共交通機関等の利用促進（駐輪場の整備、るのバス等の充実）	企画政策課 地域防災課	A
	低公害車の率先導入	地域防災課 総務課	A
	低公害車の普及・啓発（情報提供）	環境政策課	A
	粉じん防止対策の充実	生活環境課	A
	悪臭防止対策の充実	生活環境課	A
③	家庭・事業所排水対策（普及・啓発の実施）	生活環境課	A
	下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討	管理課	B
④	工場・事業場からの騒音防止対策の充実	生活環境課	A
	道路交通騒音対策の実施（都等への要望）	建設課	C
	近隣騒音防止対策の充実（啓発・指導）	生活環境課	A
	航空騒音対策の実施（関係機関への要請）	企画政策課	A
⑤	有害化学物質に係る情報の充実（情報提供）	生活環境課	A
	有害化学物質の使用の適正化の促進（届出に係る指導）	生活環境課	A
⑥	振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	生活環境課	A
	土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	生活環境課	A
	家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	農林課	A
	地下水保全対策の充実（揚水規制）	生活環境課 農林課	A
	光害防止対策の研究	生活環境課	A

(2)循環型社会の構築

- ① 体系的な循環型システム構築の推進
(→重点：資源を循環させる)
- ② 環境に配慮した収集・処理の推進

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
循環型社会構築の推進							
・「ごみ会議」の運営・推進 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						
・ごみ減量・リサイクル意識の啓発 (情報誌「へらすぞう」の発行等) 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						
・落ち葉の堆肥化の推進 〔生活環境課〕	予定	モデル地区		実施			A
	実績						

<施策・事業>

	関連する施策・事業	担当課	平成 26 年度 評価
①	グリーン購入の推進 (考え方や商品等の紹介・PR)	生活環境課	A
	省資源 (レジ袋削減・簡易包装等)・ロングライフ (長寿命) 化の推進 (情報提供・意識啓発)	生活環境課	A
	エコショップ認定制度の検討	生活環境課 観光商工課	C
	リサイクルフェアの実施	生活環境課	A
	廃食油石けんづくりの普及	生活環境課	A
	生ごみリサイクルの促進 (生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出)	生活環境課	A
	省資源型経営の推奨	生活環境課	C
	ごみの戸別収集・有料化	生活環境課	A
	資源集団回収の実施	生活環境課	A
	ペットボトル等拠点回収実施	生活環境課	A
	新たなリサイクルシステムの検討	生活環境課	A
	剪定枝等のリサイクル方法の検討	生活環境課	A
	放置自転車リサイクルの実施	地域防災課	A

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
②	環境低負荷型の収集の実現（効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化）	生活環境課	A
	ごみ焼却に伴う環境負荷の低減（ダイオキシン類の発生抑制等）	生活環境課	A
	清掃工場の適正管理	生活環境課	A

2-4 身近な自然を生かしたまちの創造

【目標】

- ・ 市街地の中に緑があふれ、誰もが身近にふれあっている。
- ・ 子どもたちが遊び、人々が集う魅力ある水辺が整備されている。

(1) 市街地における緑の確保

- ① 公共の緑の充実
- ② 住宅・工場施設等の緑化
- ③ 農地や樹林地の保全（→重点：農地・農業を守る）

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度 評価
	H23	H24	H25	H26	H27	
地元野菜の普及・活用（食育）						
・ 施設園芸（温室等）化 〔農林課〕	予定	事業展開				A
	実績					
・ 保育園給食等への供給検討・実施 〔農林課〕	予定	検討・実施				A
	実績	■				
・ 地元産野菜を題材にした食育の推進 〔農林課・健康課〕	予定	実施				A
	実績					
農業の振興・支援						
・ 後継者の育成支援 〔農林課〕	予定	継続				A
	実績					
・ 獣害防止対策の実施 （被害状況のモニタリング、電気柵設置） 〔農林課〕	予定	継続				A
	実績					
農地の適正管理と活用						
・ 生産緑地制度の推進・管理 追加指定（希望者把握・協議） 〔農林課・都市計画課〕	予定	継続				A
	実績					
・ 市民農園制度の活用 取組方策の検討（遊休農地の活用ほか） 〔農林課〕	予定	継続				A
	実績					

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	公園の整備の推進	管理課 建設課 区画整理推進室 環境政策課	A
②	緑化の推進（開発時の緑化指導）	環境政策課 都市計画課	A
	緑化の効果のPR	環境政策課	A
③	保存樹木・保存緑地の指定	環境政策課	A
	みどりの大切さのPR	環境政策課	A

(2)魅力ある川づくり

- ① 親しめる川の保全・整備
(→重点：美しい川を守り育むーホタルが棲め、子どもが遊べる川づくりー)
- ② 川のある景観の保全と活用
- ③ 水と緑のネットワークの形成

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成26年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
市民参加による清流の保全							
・清流保全協力員活動（看板の設置等） 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
・市民参加型イベントの検討・実施 〔環境政策課〕	予定	継続					A
	実績						
・活動の公表の検討 〔環境政策課・生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						
・河川景観の整備 〔生活環境課・建設課〕	予定	継続・協力依頼					A
	実績						
・川遊びのマナー等の向上（マナーの周知・ 清掃活動・不法投棄防止） 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
ホタルが棲める川づくり							
・ホタルが見られる場所の調査 〔環境政策課・生活環境課〕	予定	調査・分析					A
	実績						
・ホタルが棲める川づくり（ホタルの保護 など） 〔環境政策課〕	予定	地域ごとに展開					A
	実績						

	年 度					平成 26 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
子どもの水辺事業の推進 〔生涯学習スポーツ課〕	予定	継続					A
	実績						

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	親水散策路の整備の推進（再掲）	建設課	C
②	あきる野百景の保全・活用の検討	環境政策課	A
③	散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	観光商工課 観光まちづくり 活動課 建設課	A
	水と緑のマップの充実	環境政策課	A

2-5 美しく清潔なまちの形成

【目標】

- ・ みんなで一緒に、市内をきれいにする活動や街並みづくりを進めている。
- ・ ごみのない、美しく魅力的な街並みが形成されている。

(1) 景観の整備

- ① 快適な街並みの形成
(→重点：美しいまちをつくる - 「歩きたくなる」みちづくり-)
- ② 魅力的で憩いの場となる街並みの形成
- ③ あきる野の顔づくり

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
良好な街並みづくり（地区計画） （区画整理事業区域・線引き変更箇所） 〔区画整理推進室・都市計画課〕	予定	継続					A
	実績						
歩きやすいみちづくり （散策路・遊歩道の整備） 〔建設課・観光商工課・観光まちづくり活動課・環境政策課〕	予定	検討・実施					A
	実績						

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	良好な街並みづくり（地区計画の活用）	都市計画課	A
	景観保全・形成の方向性の決定（都市景観ガイドラインの策定等）	都市計画課 環境政策課	C
	市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発（a. マナーやルール、b. まちづくり教育・組織づくり）	区画整理推進室 環境政策課	A
	商店街の景観整備	観光商工課	C
②	まちかど広場等の整備	建設課	F
	買い物マップの作成	観光商工課	C
	観光スポットのPR	観光商工課 観光まちづくり 活動課	A
③	不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	管理課	A
	電線の地中化の検討	区画整理推進室 管理課	C

(2)清潔なまちづくり

- ① たばこ・ごみのポイ捨て防止
(→重点：美しいまちをつくる ーわがまちの清掃活動の推進ー)
- ② 不法投棄の防止
- ③ 道路・公園・公共建物等の管理
- ④ 犬、猫等ペットに関する指導・啓発

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度 評価	
		H23	H24	H25	H26		H27
たばこ・ごみのポイ捨て防止（意識啓発） 〔環境政策課・生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
一斉清掃の実施 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
ボランティア活動の推進（ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収） 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	ポイ捨て防止などの対策の研究	環境政策課 生活環境課	B
②	不法投棄防止対策の充実	生活環境課	A
③	ごみ会議の開催	生活環境課	A
	道路・公園・公共建物等の適正管理の実施	建設課 管理課 生活環境課	A
	空き地の適正管理	生活環境課	A
④	ペットの飼い方等の意識啓発	健康課	A
	苦情対策	生活環境課 健康課	A

エネルギー環境分野

2-6 省エネルギーの推進

【目標】

- みんなで省エネルギー行動を進めている。
- 本市からのCO₂排出量が減っている。

(1) 市全体での省エネルギーの推進

- ① 市全域でのエネルギー使用量の把握
(→重点：省エネルギーを進める –省エネルギーのまちづくり–)
- ② 動機付けとなる仕組みづくり
(→重点：省エネルギーを進める –動機付けとなる仕組みづくり–)

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度 評価	
		H23	H24	H25	H26		H27
地球温暖化対策地域推進計画の策定 〔環境政策課〕	予定	策定					F
	実績				策定		
省エネ教育の推進							
・学校での教育プログラムの実施 〔指導室〕	予定	実施					A
	実績						
・事業所への働きかけ 〔環境政策課〕	予定	実施					B
	実績						
制度の検討 〔環境政策課〕	予定	検討					A
	実績						
カーボン・オフセットの活用							
・現行の取組の把握・整理・検証 〔農林課・環境政策課〕	予定	検証					B
	実績						
・広域的な連携による研究 〔農林課・環境政策課〕	予定	調査・研究					B
	実績						
・森づくりと連携したカーボン・オフセ ットの仕組みづくり・活用の検討 〔農林課・環境政策課〕	予定	検討					A
	実績						

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	市全域の温室効果ガス排出量の把握	環境政策課	A

(2)自動車対策

- ① 自動車利用の抑制
(→重点：省エネルギーを進める ―エコドライブを推進する―)
- ② クリーンエネルギー自動車の導入促進

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成26年度 評価
	H23	H24	H25	H26	H27	
エコドライブの普及・啓発						
・各種支援制度の利用等の検討 〔環境政策課〕	予定	検討				C
	実績					
・啓発の実施 〔環境政策課〕	予定	継続・強化				A
	実績					
・講習会（座学・実技）等の開催 〔環境政策課・総務課・職員課〕	予定	座学	実技			A
	実績					
自転車利用の促進						
・施設整備の実施 〔地域防災課・建設課〕	予定	検討				C
	実績					
・自転車優遇方策の検討 〔環境政策課〕	予定	検討				B
	実績					

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	「車に乗らない日」の普及・啓発	環境政策課	C
	公共交通機関の利用促進	環境政策課 企画政策課	A
	自転車専用のインフラ整備	建設課	C
②	低公害車の率先導入（再掲）	総務課 地域防災課	A
	低公害車の普及・啓発（再掲）	環境政策課	A
	燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施（エコエネルギー ステーションの設置研究ほか）	環境政策課 企画政策課	B

(3)電力使用量の削減

- ① 家庭での省エネルギー対策
(→重点：省エネルギーを進める ー家庭での省エネルギー対策ー)
- ② 事業所での省エネルギー対策

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度 評価
	H23	H24	H25	H26	H27	
省エネルギー対策の普及・啓発						
・情報提供と協力呼びかけ 〔環境政策課〕	予定	継続・強化				A
	実績					
・セミナーの開催 〔環境政策課〕	予定	継続・強化				B
	実績					
省エネ型生活 10 か条・環境家計簿の普及						
・省エネ型生活 10 か条・環境家計簿等の 普及 〔環境政策課〕	予定	普及				A
	実績					
・省エネモニター制度の実施 〔環境政策課〕	予定	募集・登録				A
	実績					
雨水貯留槽設置の導入促進						
・雨水貯留槽の設置支援 〔環境政策課〕	予定	補助				F
	実績	終了				

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発（エコハウス等の情報提供）	環境政策課	A
②	事業者への省エネルギー対策の普及・啓発	環境政策課	A
	事業所のエネルギーマネジメントの普及	環境政策課	B
	中小事業所や商店に対する普及・啓発	環境政策課	A
	公共施設での「あきる野エコ活動」の推進	総務課	A

2-7 新エネルギーの導入

【目標】

- ・ 太陽光や森林資源などを有効活用した新エネルギーを導入している。
- ・ 市民の新エネルギーへの関心が高まり、積極的に利用している。

(1)新エネルギー技術の活用

- ① 家庭・事業所での新エネルギー技術の導入促進
(→重点：新エネルギーを導入する)
- ② 公共施設への新発電技術の導入

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度
		H23	H24	H25	H26	H27
家庭における新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進						
・ 情報提供と普及促進 〔環境政策課〕	予定	継続・強化				A
	実績					
・ 新エネルギー・省エネルギー機器の設置 支援 〔環境政策課〕	予定	補助				A
	実績					

<施策・事業>

	関連する施策・事業	担当課	平成 26 年度 評価
①	事業所での新エネルギーの導入促進	環境政策課	A
	新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	環境政策課	A
②	木質バイオマスの利用促進	観光まちづくり 活動課 農林課 環境政策課	A
	普及啓発・環境教育の実施	観光まちづくり 活動課 農林課 環境政策課	C

(2)リサイクル型エネルギーの利用

① ごみ焼却熱の再利用

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	焼却炉の効率的な稼働の促進	生活環境課	A
	ごみ焼却余熱の利用	生活環境課 西秋川衛生組合	A

(3)最新動向の把握及び調査研究

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
	新たな新エネルギー技術の導入検討	環境政策課 施設営繕課	B

2-8 森林・緑地の拡大によるCO₂の吸収

【目標】

- ・ 森林が適正に管理され、CO₂が吸収されている。
- ・ 市街地内にも緑がたくさんあり、CO₂が吸収されている。

(1) 森林の保全

- ① CO₂吸収量の確保
- ② CO₂吸収源の育成（地域林業の活性化）

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	森林のCO ₂ 吸収量に関する普及・啓発	農林課 環境政策課 指導室	A
	森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	農林課 環境政策課	A
②	総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	農林課	A
	地域林業の活性化（再掲）	農林課	A
	材木生産の合理化とブランドイメージの向上	農林課 観光商工課	A
	木材加工産業の育成	農林課 観光商工課	A

(2) 緑化の推進

- ① CO₂吸収量の拡大のための緑化

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	街路樹、公園樹木の拡大	建設課 管理課 環境政策課	A
	家庭等での植樹の推進（再掲）	環境政策課 農林課	A
	グリーンリサイクル（落ち葉・剪定枝）の推進（再掲）	生活環境課	A

人の活動分野

2-9 市民・事業者・市の協働による取組の推進

【目標】

- ・ 誰もが環境に関する情報をいつでも見ることができる。
- ・ 一人ひとりが自主的に環境行動を実践している。
- ・ 市民・事業者・市が協働して、環境行動を展開している。

(1)情報の共有

- ① 環境に関する情報提供・交流
- ② 情報共有化のための仕組みづくり

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	「環境白書」の作成・公表	環境政策課	A
	環境に関する情報の収集・公開	環境政策課 図書館	A
	研究・活動実績等の発表の場づくり	環境政策課	A
②	環境情報サイトの立ち上げ	環境政策課	B
	環境情報コーナー等の機能整備の検討	環境政策課 図書館	A

(2)環境教育の推進

- ① 環境教育の充実
(→重点：人づくりを進める)

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成26年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
環境教育の場の充実 〔環境政策課・指導室・生涯学習スポーツ課〕	予定	継続					A
	実績						
人材の育成及び活用 〔環境政策課・生涯学習スポーツ課〕	予定	継続					A
	実績						

(3)環境パートナーシップの形成

- ① 市民・事業者・市の具体的な役割の設定

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	協働・団体等のネットワーク化	環境政策課	B
	市民・事業者・市の協働事業等の推進	環境政策課	A
	問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	環境政策課	A

(4)様々な仕組みの検討

- ① 計画推進の基盤づくり
② 市民・事業者の行動促進の仕組みづくり

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	財源の確保の検討	環境政策課	C
	ボランティアの活用の仕組みづくり	環境政策課	A
	点検・評価への参加の充実	環境政策課	A
②	家庭版・学校版 I S O 等の仕組み検討	環境政策課	C
	事業者のマネジメントシステム導入支援	環境政策課	C
	経済的手法の研究	環境政策課	C

3 あきる野市環境委員会からの意見

環境委員会では、自然環境、生活環境、エネルギー環境の3分野のグループに分かれ、環境基本計画の施策の進捗状況について点検評価を行っています。ここに、環境委員会から提出された意見をとりまとめ、掲載します。

3-1 環境基本計画の施策のあり方

前年度策定された「生物多様性あきる野戦略」にも示されているとおり、市街地における生態系ネットワークの形成など、まちづくりにおいても様々な視点を盛り込む必要があると考えます。

こうしたことから、区画整理事業などのまちづくり事業について、地権者や周辺住民の意思を尊重するとともに、これまで以上に、様々な視点からの意見を取り入れるような仕組みづくりを検討し、「市民とともに進めるまちづくり」を実現していただきたいと思います。

環境基本計画の中には、未着手の施策がいくつか見られ、人員、予算不足を理由とするもののほか、関係主体との調整が必要なものや物理的に不可能であるものもあります。次期計画策定時には、関係主体を交えて実現可能性を検討の上、計画として掲げられる部分のみを盛り込むべきと考えます。

前年度策定された「生物多様性あきる野戦略」と「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき「(仮)生きもの会議」や「(仮)地球温暖化対策地域協議会」の立ち上げが予定されている。環境基本計画の施策実現に向け、大きな指針ができたことは喜ばしく感じております。

その一方で、諸事情から未着手の施策も散見される外、市内外関係団体との協働の体制が明確でないなどの理由で一部着手に留まっているものもあります。

H28年度からの「第二次環境基本計画」の策定に当たっては、こうした点も考慮し、協働体制の構築や、より実効性のある施策に特化していくよう検討を行っていただくべきと考えます。

3-2 環境委員会として推進していく施策・事業、市民協働で担う役割

町内会・自治会との協働の森づくりについて、良好な環境と景観を形成するために、歩道や尾根道の補修・整備だけではなく、苗木の植生についても支援していただけないでしょうか。

なお、苗木の選定に当たっては、「生物多様性あきる野戦略」にふさわしく、当該地の自然環境に適した在来種で、かつ、景観的にも優れた種を選定することが大切だと思います。

環境基本計画の理念を達成するためには、方向性の共有化とともに、多くの市民・団体の協力を仰ぎ、きめ細かい対応をしていく必要がある。現在実施中の「知る活動」を更に活発化し、地域住民・各団体の活動の実態を詳しく知ること、環境施策をより大きく発展させるための仲介的役割を果たしていきたい。

2016年4月から一般家庭でも電力会社を選べるようになり、2018年～20年には発送電分離も実現する。初のエネルギー選択に向けて、環境委員会（仮 地球温暖化対策地域協議会）の果たす役割も大きくなると思う。

あきる野市は2つの河川と豊かな森林を擁している。将来的にはこうした自然環境を活用して、小規模水力発電や木質バイオマス発電等の自然エネルギーを生み出すことができると考える。地元で電気を作り、消費し、外部にも販売する。そこに雇用が生まれ、地域経済の活性化に貢献できる。

地域主導でこのような事業を展開できれば、素晴らしいと思う。そのためには、より専門性を備えたエネルギー政策担当スタッフが必要であり、環境委員ももっと学習する必要があると思う。そして、市民と事業者との連携・協働に向けて、できることから進めていきたいと考える。